

令和6年度

**宮崎県生活交通確保維持改善計画（案）
（宮崎県地域間幹線系統確保維持計画）**

（概要版）

宮崎県地域公共交通協議会

- 1 目的・必要性**
- 2 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統**
- 3 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額等**
- 4 「みなし系統」の承認について**
- 5 生産性向上の取組に係る取組内容等**
- 6 車両の取得に係る目的等**

1 目的・必要性

高齢者や児童・生徒等若年層の通院、通学、買い物等、日常生活に不可欠な移動手段であるバス路線について、地域公共交通確保維持改善事業を活用することにより、その継続的な運行の維持・確保を図る。

2 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統

系統数：22系統（前年度比▲3系統）

3 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額等

- ・ 経常費用の見込額 約13.1億円
- ・ 経常収益の見込額 約8.3億円
- ・ 国庫補助申請額 114,474千円

（内訳）

宮崎交通株式会社	（20系統）	112,170千円
鹿児島交通株式会社	（2系統）	2,304千円

国庫補助要件（地域公共交通確保維持事業）

■ 地域間幹線系統確保維持関係

- 複数市町村にまたがるもの(H13.3.31時点)
- 県庁所在地、広域行政圏の中心市町村等にアクセスすること（宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、西都市、高鍋町）
- 1日当たりの運行回数が3回以上であること
- 1日当たりの輸送量が15～150人であること
- 経常収益の見込額が経常経費の見込額を上回らないこと など

■ 車両減価償却費関係

- 補助対象期間中に新たに購入するもの
- 主として補助対象系統の運行の用に供するもの
- バリアフリー対応車両（ハステップ車両）であること など

令和5年度生活交通確保維持改善計画からの主な変更内容（みなし系統に係る変更を除く）

令和5年度計画の運行系統名	変更点等
3 「高鍋～坂本～道の駅つの」	路線見直し協議※の内容を踏まえ広域的コミュニティバス路線へ変更するため、計画より削除。
9 「（特急）小林駅～宮交シティ～福祉センター～宮崎空港」	経常収益の見込額が経常経費の見込額を上回ったことにより、計画より削除。
1.4 「宮崎～正手～七野」 1.5 「宮崎～正手～合又・田野運動公園」	路線見直し協議※の内容を踏まえ、二路線を統合。

※令和3年度より、地域間幹線系統に係る見直し協議を実施中。

申請 番号	運行系統名	計画実車 走行キロ	補助対象 経費（千円）	国庫補助金 内定申請額 （千円）
1	イオンタウン日向～一ヶ岡・大福良団地～レーヨン	178,900.8	8,386.0	4,193.0
2	宮交シティ～高鍋駅～高鍋	123,634.8	7,188.0	3,594.0
3	宮交シティ～高鍋～木城温泉館湯らら	150,523.6	8,392.0	4,196.0
4	宮交シティ～光陽台	132,150.4	2,090.0	1,045.0
5	延岡駅～青雲橋・日之影町立病院～高千穂	260,862.0	10,157.0	5,078.5
6	延岡駅～日之影駅～日之影町立病院～高千穂	244,580.4	11,165.0	5,582.5
7	宮交シティ～佐土原小前～西都	402,554.2	20,500.0	10,250.0
8	宮崎～宮崎空港～鶴戸神宮～飫肥	256,322.0	17,285.0	8,642.5
9	宮交シティ～国富～綾	406,294.6	21,008.0	10,504.0
10	宮崎～花見～赤谷	88,986.8	2,400.0	1,200.0
11	宮崎～祇園台・穆佐・小山田（高岡温泉）～尾頭	126,989.8	6,143.0	3,071.5

申請 番号	運行系統名	計画実車 走行キロ	補助対象 経費（千円）	国庫補助金 内定申請額 （千円）
12	宮崎～正手～合又・田野運動公園	146,448.8	7,591.0	3,795.5
13	西都城～都城駅・イオンモール～小林	183,163.6	7,950.0	3,975.0
14	イオン都城～妻ヶ丘・イオンモール・都城駅～川原谷	60,853.6	2,296.0	1,148.0
15	（特急）西都城～都城駅・都城北入口・高速道・宮崎空港～宮崎 駅	614,550.6	54,127.0	27,063.5
16	南延岡～浦城港～宮野浦	171,214.8	5,832.0	2,916.0
17	イオンタウン日向～道の駅とうごう	126,245.6	6,859.0	3,429.5
18	飫肥～油津～夫婦浦～幸島入口	165,578.4	6,719.0	3,359.5
19	西都～佐土原駅～佐土原高校	112,003.0	4,587.0	2,293.5
20	小林～市立病院～文化センター～道の駅えびの～京町	222,721.4	13,666.0	6,833.0
21	都城～岩川～野方～県民健康プラザ～鹿屋	175,094.4	2,649.0	1,324.5
22	志布志～稚児松～松山駅～岩川～中央通り～都城	107,360.0	1,960.0	980.0

4 「みなし系統」の承認について

【原則】

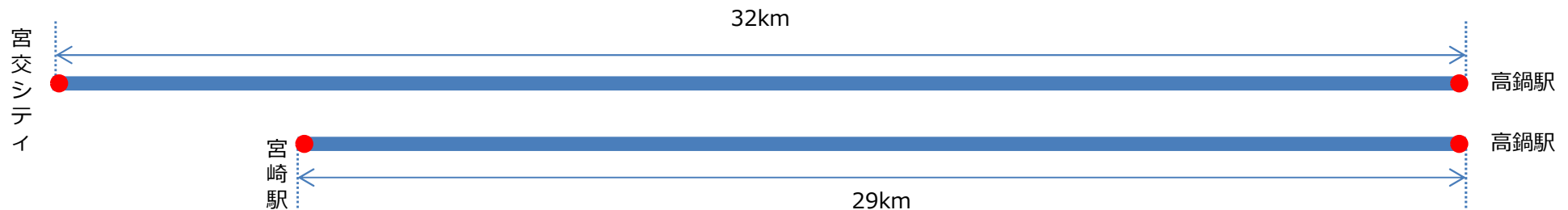
ある系統が補助対象（運行回数、輸送量など）であるか否かの判断は系統ごとに行う。

【例外】

ある系統と一部運行区間が異なる系統（経路地が異なる場合など）が存在する場合、これらの系統を1つに束ねた上で、補助対象であるか否かの判断を行うことができる。

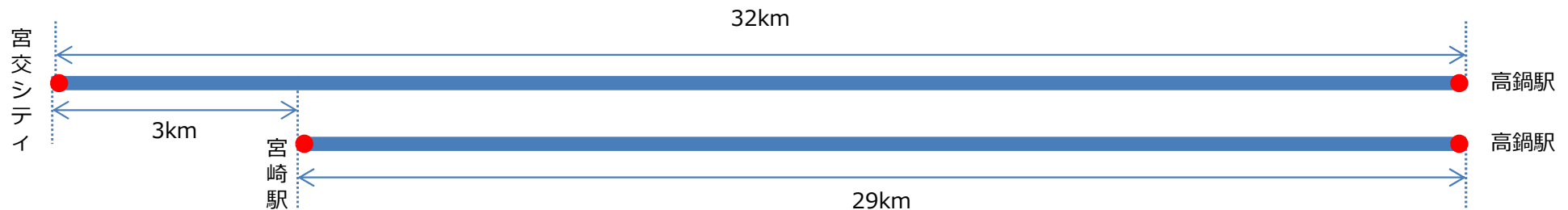
→ 単一系統では補助対象とならない系統も、他の系統と束ねることで補助対象となる場合がある。

〈原則〉 「宮崎駅～高鍋駅」、「宮交シティ～高鍋駅」を通る系統がある場合



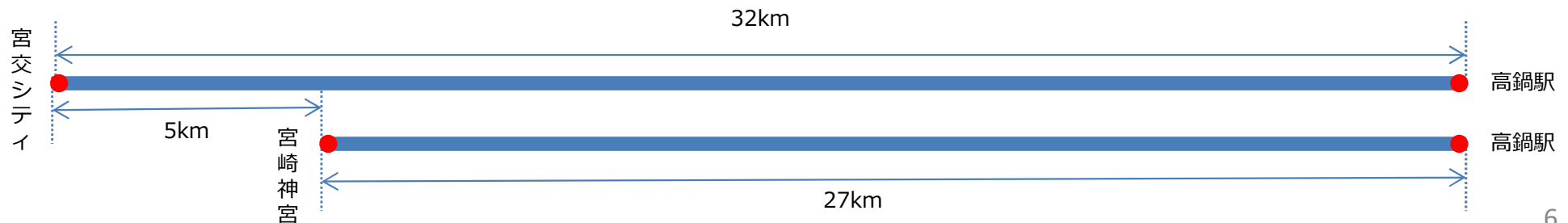
→ それぞれの系統ごとに、補助対象（運行回数、輸送量など）であるか否かを判断する。

〈例外1〉 主系統と異なる運行区間が「10%以内かつ10km以内」である場合



→ 「宮崎駅～高鍋駅」を「宮交シティ～高鍋駅」のみなし系統とすることができる。

〈例外2〉 主系統と異なる運行区間が「20%以内かつ20km以内」である場合



→ 協議会の承認があれば、「宮崎神宮～高鍋駅」を「宮交シティ～高鍋駅」のみなし系統とすることができる。

■ 令和6年度計画で「みなし系統」の承認を要する7系統

申請番号	系統名	関係する地域分科会
2	宮交シティ～高鍋駅～高鍋	宮崎、西都
7	宮交シティ～佐土原小前～西都	宮崎、西都
9	宮交シティ～国富～綾	宮崎
10	宮崎～花見～赤谷	宮崎
12	宮崎～正手～合又・田野運動公園	宮崎
14	イオン都城～妻ヶ丘・イオンモール・都城駅～川原谷	都城
16	南延岡～浦城港～宮野浦	延岡

5 生産性向上の取組に係る取組内容等

■ 目標

令和4年度の実績（収支率）に基づき、補助対象系統ごとに1.0%の収支率改善を目標として設定。

■ 取組内容

主な取組内容について、各地域分科会より後ほど報告

6 車両の取得に係る目的等

バリアフリー対応率、車両サービス水準の向上、老朽車両の置き換えによる車両故障の軽減等を目的に、計画的な車両更新を進める。

■ 目標

令和8年度までにバリアフリー対応率を49%以上に引き上げる。

■ 車両の取得計画の概要

年度	補助対象事業者	補助対象車両数	車両減価償却費等に要する国庫補助額（千円）
6	宮崎交通株式会社	36台 〔 6年度取得 : 6台 取得後2年目以降 : 30台 〕	47,096
7	宮崎交通株式会社	36台 〔 7年度取得 : 6台 取得後2年目以降 : 30台 〕	47,088
8	宮崎交通株式会社	36台 〔 8年度取得 : 6台 取得後2年目以降 : 30台 〕	47,083